

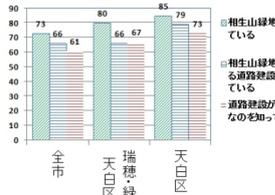
8月11日 土木交通委員会（田口一登委員長・藤井ひろき議員）

「相生山緑地の道路」に関する請願は「保留」 市長の記者会見にそって事業廃止をすすめる

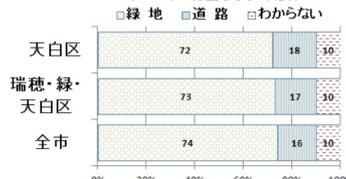
8月11日の土木交通委員会で、「相生山緑地に関する道路事業の廃止及び整備について、「市民による住民意向調査」の集計結果を尊重し、反映させることを求める請願」の審査を行いました。

藤井ひろき議員は、市長が記者会見で示した方針をうけての対応をただしました。当局は、意向調査や市民アンケートの結果を説明し、市長会見の方針の実現に向け、緑政土木局を事務局とした「世界の相生山プロジェクト検討会議」を設置し、弥富相生山線の道路事業の廃止、近隣住宅地への通過自動車の入り込み対

相生山道路についてのアンケート



緑地か道路か、どちらか
(2014年10月住民アンケート結果)



策、および、相生山緑地の整備に関する事等について検討をおこなっていると説明しました。

藤井議員は地元の意見を聞きながら道路事業の廃止を進めるよう求め、請願は「保留」となりました。

土木交通委員会での請願審査の結果 (2015年8月11日)

請願名 (請願者)	請願項目	結果
相生山緑地に関する道路事業の廃止及び整備について、「市民による住民意向調査」の集計結果を尊重し、反映させることを求める請願 (相生山緑地を考える市民の会)	1 道路事業廃止や自動車入り込み対策は、「住民意向調査」の集計結果を尊重し、速やかに実現を 2 相生山緑地の整備は「住民意向調査」の結果を尊重し、緑地を分断して自然を破壊せず、ヒメボタル・オオタカの生息地を守る 3 緑地整備に市民の意向を尊重、反映するためのシステムを	市の動向を見極め慎重に検討するため、「保留」

「市営交通事業経営計画(2015-2018)案」を発表 バスや地下鉄の委託拡大などで職員を200人削減

この日の土木交通委員会では「名古屋市営交通事業経営計画案」も発表され審議を行いました。

2015年から2018年の経営計画を示したもので、「SAFETY & CHALLENGE」を理念に、計画目標として、市バスは・平成30年度に1日あたり34万人の乗車人員をめざす・経常収支の黒字を確保する・資金不足を解消する・計画期間中に50億円投資。地下鉄では・平成30年度に1日あたり127万人の乗車人員をめざす・実質経常収支の黒字を確保する・実質資金不足額を平成26年度比で

約10% (263億円) 削減・計画期間中に542億円投資とし、そのうえで、安全対策など7つの重点課題とそれぞれの取り組む施策を掲げています。

経営基盤強化では市バスの民間委託で90人、地下鉄駅務の委託で50人、地下鉄のワンマン化で60人の職員削減などが計画されています。この案は9月にパブコメが行われ11月に計画問なる予定です

区分	26年度	計画期間			
		27年度	28年度	29年度	30年度
乗車人員 (千人/日)	328	332	335	337	340
収益的収支					
經常収入	235	235	241	243	245
うち運輸収益	167	171	172	174	175
うち敬老バス負担金	56	58	59	60	61
經常支出	221	227	229	233	237
經常収支	14	8	12	10	8
累積欠損金 (△欠損)	△ 424	△ 410	△ 398	△ 388	△ 380
資本的収支					
資本的収入	26	10	17	20	29
資本的支出	49	34	38	36	47
うち建設改良費	5	10	8	11	21
資本的収支差引	△ 23	△ 24	△ 21	△ 16	△ 18
当年度資金過不足額 (△不足)	8	3	4	8	7
資金過不足額 (△不足)	△ 21	△ 18	△ 14	△ 6	1
資金不足比率 (%)	11	9.2	6.8	3.1	-

区分	26年度	計画期間			
		27年度	28年度	29年度	30年度
乗車人員 (千人/日)	1,237	1,247	1,255	1,262	1,267
収益的収支					
經常収入	856	901	930	920	908
うち運輸収益	716	728	730	735	737
うち敬老バス負担金	72	74	75	77	78
經常支出	791	822	817	806	800
經常収支	65	79	113	114	108
実質經常収支	50	35	38	45	52
累積欠損金 (△欠損)	△2,759	△2,689	△2,576	△2,462	△2,354
資本的収支					
資本的収入	246	238	217	190	173
資本的支出	587	648	633	606	541
うち建設改良費	131	154	128	130	130
資本的収支差引	△ 341	△ 410	△ 416	△ 416	△ 368
当年度資金過不足額 (△不足)	△ 28	△ 67	△ 58	△ 50	△ 8
資金過不足額 (△不足)	△ 97	△ 164	△ 222	△ 272	△ 280
実質資金過不足額 (△不足)	△2,483	△2,443	△2,397	△2,318	△2,220

(注) 収益的収支には消費税及び地方消費税を含まず、資本的収支には消費税及び地方消費税を含みます。(市バス・地下鉄とも)